

令和7年度

第1回 豊見城市地域公共交通協議会

【その他取組みについて】

-
- 6-1. 女性専用ライドシェア「Wely」実証実験報告書について
 - 6-2. カーシェアの取組みについて
-

令和7年8月27日
豊見城市 都市計画課

6-1. 女性専用ライドシェア「Wely」実証実験報告書について

(1) 実証実験の概要について

- 移動実費額（ガソリン代・高速代）をドライバーが受け取れる実費型ライドシェアサービスの実証実験を豊見城市で実施

■ 実証の目的

- 女性専用ライドシェアの有用性および社会的受容性の検証
- 移動コスト削減や移動時の安全確保に関する効果測定
- 改修したシステムの操作性・直感的な使いやすさの評価
- 地域の交通課題にどのように貢献できるかの分析

■ 実証の実施場所・期間

実施場所	期間
豊見城市	2025年2月1日～2月16日

■ 実証対象者

- 豊見城市の在住者および訪問者の女性とその同乗者（子どもまたは女性に同伴する男性）



2025年 2/1 (金)～2/16 (日)

対象：女性同乗者・女性ドライバー
※女性と一緒に同乗する場合は男性もご利用いただけます。

利用シーン：豊見城市を出発地または目的地とした移動
※豊見城市内の移動でもご利用いただけます。

利用料金：移動にかかる実費費用のみ（ガソリン代や専用保険代など）
※ドライバーの方は料金は発生せず、移動実費額をお引き出しいただけます。



(2) 実証実験の結果について

■ 利用状況及び周知広報

実施場所	事前申し込み者数	乗せて予約数	マッチング件数
豊見城市	116人	7件	2件

2025年2月1日から2月16日にかけて、豊見城市で実証実験を実施した。事前準備として、1月22日から広告を出稿し、利用者への周知を図った。加えて、豊見城市役所の協力を得て、役場内にチラシを掲載してもらうことで、市民への認知度向上を図った。

実証期間中、2月3日、2月4日、2月6日の三日間にわたり、豊見城市役所内で登録サポートとチラシ配布を実施した。2月6日には、ラジオ担当者のご厚意により、役場内にあるラジオ番組に出演し、Welyの仕組みや目的について直接説明する機会を得た。ラジオを通じた広報活動により、市民の関心を高め、より多くの登録者を獲得することができた。



(2) 実証実験の結果について

■ 利用者・ドライバーからのフィードバック

肯定的な意見

- 「女性専用なので安心して利用できた」
- 「ドライバーと利用者のマッチングで会話が生まれ、移動時間が楽しいものになった」
- 「非日常の移動手段として観光にも活用できると感じた」
- 「役場で登録サポートがあり、手続きがスムーズだった」

改善点

- 「オファーに気づきにくい」
- 「支払いの流れが分かりにくい」
- 「マッチング後のやりとりをよりスムーズにしたい」
- 「問い合わせ方法が分かりにくい」

改善点のフィードバックを受けて、システムのUIUXを変更し、以下のように対応した。

変更後

- 「オファーに気づきにくい」→オファー受信時にメール通知機能の追加
- 「支払いの流れが分かりにくい」→マッチング後、支払いボタンの位置を上部に固定・搭乗時間以降に支払いボタンが有効になる機能追加
- 「マッチング後のやりとりをよりスムーズにしたい」→メッセージ機能の追加
- 「問い合わせ方法が分かりにくい」→マイページに問い合わせ導線の設置

(2) 実証実験の結果について

■ 実証実験からの考察

本実証では、地域住民の移動手段としてだけでなく、ペットの緊急時の要望があり、マッチングした事例があった。緊急な要望ではあったが、「困っている人を助けてあげたい」というドライバーの意欲が見られたことは、**Wely**が単なる移動手段ではなく、コミュニケーションの場としても機能する可能性を示唆している。同乗者にとっても緊急時や移動時の選択肢が増えることは、自分の生活スタイルの多様化(車がなくてもより快適に移動できる、移動費を抑えられるなど)を支えるのではないかと考えられる。

■ 今後の展望

今後、以下の点を重点的に改善し、**Wely**の実用化・普及を目指す。

サービスの継続的なプロモーション

- ・オキジモ！やLINEオープンチャットを活用した地域住民への認知度向上
- ・自治体や企業と連携し、観光客向けの活用促進

ドライバーのモチベーション強化と地域活性への取り組み

- ・企業や自治体と協力し、**Wely**で移動を助けたドライバー限定で利用できるクーポンの配布
- ・**Wely**ドライバーが移動を助けた人数、移動距離を可視化し、表彰制度の検討（市から表彰されるというような提携ができると嬉しい）

■ まとめ

今回の実証実験では、女性専用ライドシェアの有用性が一定の評価を得た一方で、運用面での課題も明らかとなりました。豊見城市からの協力を得られたことで、役場に訪れる方の中での認知度が上がり、多様な利用ニーズの把握につながったことは大きな成果です。並里さま、安慶田さま、関係者の皆さま、改めて感謝申し上げます。

実証実験が終わった現在、サービスは全国展開され、ユーザーは800名を超え、予約数も100件を超えています。ユーザーから指摘があった部分に関しても改善を続けているため、さらに使い勝手も良くなり、利用者の満足度も上げていけるのではないかと考えています。今後も安全かつ利便性の高いサービスの提供を目指して参ります。

引き続き応援の程よろしくお願いいたします。

2025年3月6日
WaysLink株式会社
上地佑来

6-2. カーシェアの取り組みについて

- 市内公共駐車場を利用した「カーシェアステーション」を設置
- 車両15台を順次配備展開



